

第六十四回 帝國議會

恩給法中改正法律案委員會議錄(速記)第四回

付託議案

恩給法中改正法律案(政府提出)

(二〇一)

會議
昭和八年二月二十五日(土曜日)午後一時五十九分開議
出席委員左ノ如シ

委員長 津崎 尚武君
理事喜多 孝治君 理事宮澤 裕君
山科 儀重君 八角 三郎君
匹田 銳吉君 江藤源九郎君
吉田 鞠明君 林 路一君
坂東幸太郎君 橫山金太郎君
添田敬一郎君 後藤 亮一君
出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 樋貝 詮三君
法制局長官 堀切善次郎君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
陸軍歩兵大佐 中井良太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
恩給法中改正法律案(政府提出)
○津崎委員長 是カラ會議ヲ開キマス、質疑ヲ繼續致シマス——八角君
○八角委員 私ハ此今度御改正ニナリマシタ點及マダ加ハリマセヌ點ニ付キマシテ御

所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、此恩給法改正ノ理由ノ中ニ恩給總額ノ累増傾向ヲ防止スルト共ニ「公務傷病者其ノ他ノ者ノ恩給ニ付事情ノ許ス限ニ於テ其ノ整備ヲ爲シ」云云、是ハ洵ニ御尤ナコト、思ヒマスルガ、此御趣意ヨリ致シマスルト云フト、減ズベキハ減シ、國家ノ存立上ドウシテモ必要ダト云フ増スベキヲ増サレルノガ、所謂改正ダラウト思フノデアリマス、ソレデ此恩給改正ノ理由ハ是非徹底的ニ貫徹サレルヤウニアサルノガ、所謂改正ダラウト思フノデアリマス、所デ第一ニ伺ヒタイノハ、此戰死、公傷死者遺族及一旦傷病者トナリマシテ死亡シタ者ノ遺族ノ扶助料ハドウナツテ居ルカト申シマスルト云フト、是ハ其額ノ少額ナコトハ元々洵ニ同情ニ堪ヘヌ次第デアリマス、殊ニ大正十二年ノ恩給改正以前ニ死亡致シタ者デ、當時兵籍簿ニ登記ガナイ爲ニ、扶助料ヲ得ルコトガ出來ナイ寡婦、是ハ洵ニ悲慘ナルモノガアリマシテ、此點ニ付キマシテハ本會議ニ於テ江藤君カラ詳シハナコトガアリマシタナラバ、私ハ是ハク御質問ニナリマシタガ、私ハマダ其御答

マス、殊ニ是等ノ點ハ調査ガ困難ナ爲ニ此改正案ニ加ハラナイ、斯ウ云フコトハヤル理由ガナクテ加ヘナイト言フノナラ鬼モ角モ、調査ガ出來ナイ爲ニ是ガ此改正ニ加ヘルコトガ出來ナイト云フコトハ、私ハ實ニ云、是ハ洵ニ御尤ナコト、思ヒマスルガ、此御趣意ヨリ致シマス、モウ大正十二年カラ十箇年ヲ經テ居リマス、此間ニヤラウト思ヘバ、御調査ガ出來ナイ筈ハナイ、而モ此恩典ニ浴シ兼ネテ居リマスノハ日露戰爭ニ於テ傷ヲ受ケテ、サウシテ而モソレノ多クハ、私ガ考ヘマスルト傷ノ重イガ爲ニ二年後マデ生キテ居ルコトガ出來ナクテ死んでモノト思ハナケレバナラナイ、其遺族ガ十箇年經過致シマシテ、其恩典ニ浴スルコトガ出來ナイ、其理由ハ調査ガ困難デ出来ナイ爲ニ、此恩典ニ漏レテ居ルト云フアルト思ヒマス、聯隊區司令部アタリニ御調査ヲナサラウト思ヘバ、出來ルモノデアリト思ヒマス、在郷軍人ノ協力ヲ求メラレ命ジニナツテ、タナラバ金ガ掛ラヌデ調査ガ出來ルモノデハナイカト私ハ思フ、私ガ聞キ及ビマス所

ハ字デ書ク通り正シク改メルノデアル、是
ハ今急ニソレナラバ一日、二日ノ間ニ御調
査ノ出來兼ネルモノダト云フコトハ萬々承
知致シテ居リマスガ、何トカ、是ハナサル
御考ガ當局ニナイノデアリマスカ、此點ヲ
伺ヒタインデアリマス

○権員政府委員 只今御尋ノ點デスガ、大
正十二年カラ今日マデ十年經過ヲシテ居ツ
テ、其間ニ調査ガ出來ナカッタト云フ筈ハ
ナイデハナイカト云フ、御叱リヲ蒙ムル譯
デアリマスガ、大正十二年カラ今日マデト
云フ期間ヲ取ツテ言ヒマスレバ、洵ニ御尤ダ
ト思ヒマスガ、大正十二年ニ恩給法ヲ改正
セラレマシタ當時ニ於キマシテハ、原則ト
致シマシテ過去ノ分ハ過去ノ分、將來ノ分
ハ將來ト云フ風ナ大原則ヲ執リマシテ、當
時色々問題ニナッテ居ツタヤウナモノダケニ
付テ過去ニ原因ヲ生ジタモノニモ將來ニ
向ツテ給與スルト云フヤウナコトデ整備致
シマシタ譯デ、兵籍簿ニ載ラザル妻ノ分モ、
實ハ其原則ノ現レノ一ツデアツタ譯ナノデ
アリマス、當時ニ於キマシテハ實ハ是デ宜
シイト云フ考ガアリマシタヤウナ譯デ、其
時公務傷病ノ爲ニ恩給ヲ貰フヤウニナッタ
人達ノ寡婦デ、今御舉ゲニナリマシタ兵籍

惨メナモノガアルト云フコトノ實情ヲ聞クヤウニナツタノハ、比較的近年ノコトデアリマシテ、尤モ此事柄ヲ陳情等ノ形式デ、恩給當局ナドガ聞クヤウニナツタノ二年前カラ其陳情ニ接シタト云フヤウナ事情デアリマシテ、初メテサウ云ヒビドイ状態ニアルモノダト云フコトヲ具體的ニ知リマシタ、サウ云フヤウナ人ガアルカモ知レメト云フコトハ臘ニ考ヘタノハ、尙ホ其一二年前カラ考ヘモ致シマシタケレドモ、併シ具體的ニ聞キマシテ、又其數ノ相當アルト云フコトヲ知リマシタノハ、今申上ゲマシタヤウニコ、二年バカリ前カラノコトデアリマス、之ニ對シテ恩給法ヲ改正スル場合ニ如何ニ之ヲ取扱シテ行クカト云フコトニ付キマシテモ無論考慮ヲ廻ラシタ譯デアリマスガ、今回ノ改正ハ前々カラ繰返シテ申上ゲマスルヤウニ、主ナル標準ハ恩給ノ漸増防止ト云フコトニ在リマス爲ニ、増額ヲ來スヤウナ改正ヲ致シマスルナラバ、其程度及範圍ガどう云フモノデアルカト云フコトヲ大體ハッキリ致シマセヌト、之ヲ改正項目ニ上ボスコトガ實ハ危険ヲ感ズルト云フコトヲ思ヒマシテ、ソレデ兵籍簿ドノ位アルカト云フコトヲ調ベネバナラヌ

ト云フコトニナリマシタノガ、此處一年バ
リノ問題デアリマス、ソレ迄ニ於キマシテ
モ、一體今度ノ議會迄ニ恩給法改正ノ提案
ガ出來ルカドウカモ、實ハ政府部内ニ於キ
マシテモ疑問視サレテ居リマシタヤウナ譯
デ、非常ニ急ギマシタ、所ガ調べガ尙ホ遲
レテ來ルト云ッタヤウナ事情ガアリマシテ、
今回提案致シマスマデニ此調査ハ割合ニ大袈
ナカツタノデアリマス、此調査ハ割合ニ大袈
裟ナ調査ヲヤリマセヌト結果ガ出テ參リマ
セヌノデ、出來タ結果ハ小サイモノデアリ
マセウケレドモ、調査其モノハ可ナリ大掛
リナ調査ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リ
マス、サウ云フヤウナ譯デ、今回ノ改正案
ニハ間ニ合ハナカツタヤウナ譯デアリマス
ソレカラ、ソレナラバ將來ノ改正ニ付テ
ハドウスルカ、是ハ豫算ノ關係モアリマス
ノデ、尙ホ政府部内ト致シマシテモ、恩給
當局ヤ豫算ノ方ノ關係聽トモ打合セマシタ
上デ、此點ニ付テノ解決ヲ圖リタイト云フ
積リデ實ハ居リマス

クナリマスルト云フト、其妻ガ恩典ニ浴シ、十二年以前ニ亡クナリマス——即チ是ハ重イカラシテ早ク死ヌト云フヤウナコトヲ普通ニ考ヘラル、ノデアリマスガ、其重イ者ノ謂ハゞ看護ヲシテ暮シテ居ツタ者デアル、是ガ十二年ノ境ヲ以テ一ハ恩典ニ浴シ、一ハ恩典ニ浴セヌト云フヤウナコトガアリマシテハ、洵ニ是ハ陳情等ガアリマセヌデモ、國家自ラガ進ンデヤルベキコトダト私ハ思フノデアリマス、是ハ決シテ國家ノ爲ニ犠牲ニナッテ働くマシタ者ヲ遇スル全圖デ御調査ニナラナケレバナリマセヌカラ、大掛リノコトト存ジマスガ、是ハ陸軍ノ當局ニ於テ御調査ニナッテ、サウシテ速途デヤナイト思ヒマス、ソレデ恩給局等ニ於キマシテ、御調査ニナリマスノハ、成程カナル時機ニ是等ノ戰友ヲ御助ケニナル御考ハゴザイマセヌデセウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

調査ガ間ニ合ハナカッタト云フ事務的ノコトヲ碎ケテ申上ゲマスレバ、理論カラ申シマスルト、大體ノ統計デ観察ハ付クノヂヤナイカト、斯ウ初ハ思ヒマシタノデゴザイマスガ、去ル臨時議會ニ御協賛ヲ得マシテ、給與ヲ開始致シマシタ、所謂一時賜金発兵ノ扶助金ノ如キ、當時統計ト、現實實行致シマシタモノト、其間ニ九十萬圓カラノ豫算ニ開キガアリ、實ハ數日前追加豫算ニモ要求サレマシテ、是亦協賛ヲ經タヤウニ承知シテ居リマスガ、左様ニ統計ノ上デハ開キガアル、隨テ統計的ニ觀察スルト云フコトニ付テハ、遺憾ナガラ或ル場合ハ不安ト錯誤ガアルト云フコトデ、此方計ヲ廢メマシテ、更ニ只今御示ノ聯隊區司令官或ハ在郷軍人會ノ分會長ヲシテ調べサシタガ宜カラウト、是亦私共モ篤ト考ヘテ居ルヤウナ譯デゴサイマス、所ガ過去ニ於ケル是等ノ調査、殊ニ今日事變ガ始リマシテ以來、矢張此傷痍軍人ノ遺族、出征者ノ家族ニ付テ、實ハ火ノ付クヤウナ、ヤカマシイ調査ヲ命ジテ居リマスガ、遺憾ナガラ現實ニ、ソレ等ノ調査ガ確實ニ出来ヌノデアリマス、是ハ事實ハドウ云フ譯デゴザイマスカ行ハレナイ、止ムナク考ヘマシタノガ——サウシテ只今其緒ニ就キツ、アリマスノ

ハ、日露戰爭當時負傷致シマシテ、其直後ニ於テ增加恩給ヲ貰ヒマシタ其數ハ、ハツキリト私ハ記憶アリマセヌガ、約ソ三萬五六千人アラウト思ヒマス、其三萬五六千人ノイマスガ、去ル臨時議會ニ御協賛ヲ得マシテ、給與ヲ開始致シマシタ、所謂一時賜金ノヲ出シテ來マシテ、サウシテ其中デ今マデ何人死ンダラウカト云フコトヲ、更ニ貯金局方面ノ原簿ト對照致シマシテ、サウシテ其殘存者及過去ノ死亡者ニ付テ、本人ガ何時増加恩給ヲ貰ヒ、サウシテ増加恩給ヲ貰ツタ時ハ、マダ獨身デアッタカ、其後何時妻君ヲ貰ツテ何時死ンダカ、斯ウ云フコトヲ詳細ニ調査スルニハ、往復端書或ハ通信料ヲ入レマシテ、各町村ニ向ツテ全部照會シナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、サウ云フコトヲ考ヘマシテ只今其準備ニ著手シテ、恩給法ノ此問題ガ愈々議會ニ提出セラル、ト云フ決心ガ付カレマシタ前ニ、層御同情アル態度ヲ以テ、斯ノ如キ饑寡孤獨ノ者ガ救ハレマスルヤウニ、一層御盡力ヲ願ヒタイト存ズル次第デアリマス、次ニ同ヒタイノハ、從來ノ戰傷、公傷者デゴザガ、何分三萬數千人ト云フコトデアリマシテ、可ナリ調査ニ骨ガ折レ、旁法律案ヲ提出スルマデニ完全ニ締切ルコトガ出來ナガ、何分三萬數千人ト云フコトデアリマスガ、何分三萬數千人ト云フコトデアリマス、此點ハ私モ承知致シマシテ、給デアリマス、此點ハ私モ承知致シマシテ、現ニ私ト中學ノ同窓デ、同級ノ者ガ、日露戰爭デ兩眼ヲ失ヒマシテ、其增加恩給ハ千五百圓デゴザイマス、一方其後佐官デ、足リマス

○八角委員 只今ノ御説明ヲ伺ヒマシテ、了解致シマシタガ、殊ニ恩給局長ガ此問題ニ付テ大變御同情下スツテ居ルト云フコトヲ私モ傳へ聞イテ居リマス、甚ダ私共ハ感謝致シテ居ル所デゴザイマスガ、此問題ハ實際氣ノ毒ナ狀態デゴザイマスカラシテ、國家カラ自ラ進ンデヤラナケレバナラヌトヲ私モ傳へ聞イテ居リマス、甚ダ私共ハ感謝致シテ居ル所デゴザイマスガ、此問題ハ實際氣ノ毒ナ狀態デゴザイマスカラシテ、自分等モ思フノデアリマスカラ、ドウカ一層御同情アル態度ヲ以テ、斯ノ如キ饑寡孤獨ノ者ガ救ハレマスルヤウニ、一層御盡力ヲ願ヒタイト存ズル次第デアリマス、次ニ同ヒタイノハ、從來ノ戰傷、公傷者デゴザガ、何分三萬數千人ト云フコトデアリマシテ、給デアリマス、此點ハ私モ承知致シマシテ、現ニ私ト中學ノ同窓デ、同級ノ者ガ、日露戰爭デ兩眼ヲ失ヒマシテ、其增加恩給ハ千五百圓デゴザイマス、一方其後佐官デ、足リマス

○権貴政府委員 今ノ增加恩給ニ關シマシテ、階等ヲ將校ト下士ノ二段階トスル、斯ウ云フヤウナ御趣旨カト思ヒマスガ、是ハニ對シテハ政府トシテハ御同情アル解決ヲ考慮サレテ居リマスカラ、陸軍ニ於テモ調者ガ私ノ所ニ參リマシテ、此同窓ノ兩眼ヲ失ヒマシタ者ノ状況ニ付キマシテ親シク語リマシタ、自分等ハ歩クコトモ出來ルシ、斯ウシテ來テ話ヲスルコトモ出來ル、殆ど是デヤツテ行ケルノダガ、アノ兩眼ヲ失ツタ者ハ沟ニ氣ノ毒ダ、實際私共ガ郷里ニ歸りマスト、行ツテ常ニ慰メテ居リマスルガ、サウ云フヤウナ狀態デ、又下士官兵ノ兩眼ヲ失ツタ者ト其上級ノ者デ一肢ヲ失ヒマシタ者トヲ比較致シマスト、洵ニ氣ノ毒デアル、ドウシテモ階級ガ進ミマスルト、普通ノ恩給ニ差ガアルノデゴザイマスガ、此增加恩給ハ寧ロ將校、下士官兵ト申スヤウナ二階級位ニ分チマシテ、此差ヲ少ク致シマシテ、サウシテ等シク不幸ナ者ヲ救ウテヤルト云フヤウナコトハ出來ナイノデアラウカ、斯ウ考ヘテ實ハ建議案ヲ提出致シテ置キマシタ次第デアリマスルガ、此建議案ハ委員會ニ於テ可決ニナリマシタ、是ハ何トカ御改正ニナル御考ガナイノデゴザイマセウカ、其必要ヲ御認ニナリマセヌノデゴザイマセウカ、其邊ノコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

ヒマス、將校ト將校デナイ軍人トノ二階段ニスルト云フコトニハナリマス、併シ之ヲ何階段ニ分ケルノガ正當デアルカ、或ハ全然階段ヲ設ケナイノガ正當デアルカト云フヤウナコトモ、可ナリ考ヘネバナラヌコトダト思ツテ居リマス、ソレデ建議案ノ當時ニ於テ申上ガタコトデアリマスガ、大正十二年即チ現行恩給法ノ制定セラレマス前マデハ、同ジ兵卒ノ中ニ於キマシテモ更ニ段階ガアリ、下士ニ付キマシテモ段階ガアリ、將校ナドニ於キマシテモ段階ガアリマシテ、非常ニ之ヲ細分シテ居リマシタ、ソレヲ稍大雜把ナ階段ニ現行恩給法致シマシタ、大體今日ノ恩給法ニアリマスヤウナ工合ニ、勅任以上ノ者ハ別トシテ、奏任官ノ幅ハ非常ニ廣ウゴザイマスカラ、ソコデ佐官級ノ者、尉官級ノ者トシ、準士官ノ者ハ同ジ判任官ニ於キマシテモ、特殊ナ位置ヲ有ッテ居リマスシ、是ハ武官ニ於キマシテモ、文官方面ニ於キマシテモ、特殊ナ位置ヲ持ツシテ、下士ト兵卒ノ間ヲ又數階トスルト云フ譯デ、今日ハ此區分ガ大體正當ト考ヘテ、是デ宜シイト思ツテ居リマス、隨テ今回ノ恩給法ニ於キマシテモ、近イ將來ニ於テ

別ニ此階段ノ區別ヲ廢止シヨウトハ政府モナリマシタ兩眼ヲ失ツタト云フヤウナ者ハタ者ニ比ベテ見テハ、非常ニ同情ニ値スルト云フヤウナ御話モゴザイマシタ、洵ニ御說ノ通リデアリマス、此増加恩給、又隨テ今回新ニ作ル傷病ノ程度ニ付キマシテモサウデアリマスガ、傷病ノ程度ヲ如何ナルモノヲ以テ其程度ニ當嵌メルカト云フコトヲ決メルニ付キマシテハ非常ニムヅカシイノデゴザイマシテ、亞米利加等ニアリマス立法例ニ依リマスト各傷病ニ付キマシテ之ニ一定ノ價值ヲ與ヘマシテ、ソレヲ綜合シテ全體ガ何「バーセント」ノ傷病ニナルノダカラ、之ニ對シテ第何階ニ、或ハ又何「バーセント」ノ恩給ヲ與ヘルト云フヤウナコトニ致シテ居リマスガ、ソレモ具サニ調べテ見マスト、出來タ結果ハ必シモ公正デナイ、吾々ノ常識ニ合シナイヤウナモノガアリマス、ソレカラ又我國ノヤウナ標準デ此症項程度ヲ決メマニ於キマシテモ、只今御舉ゲニナツタヤウナコトヲ考ヘマスト、又不公平ダト云フヤウナ部分モアリマス、併シ之ヲ一朝ニシテ變ヘマスコトハ、少ク

○八角委員　此點ハマダ外ノ機會ガアリマ
シテモ、簡単ニ之ヲ改正スルト云フコトハ
ハ直シテ行クト云フコト以外ニハ出來得ナ
イグラウト考ヘテ居リマス、ソレデ只今御
舉ゲニナリマシタ其例デ申上ゲマスレバ、
是モ慥カ大正十二年ノ時以後ト、其前トデ
ハ——是ハ法律ノ問題デハアリマセヌデ、
寧ロ勅令ノ問題ニナツテ居リマスガ、其時
期ノ前後ニ依リマシテ症項ノ程度ヲ異ナラ
シメマシテ、兩眼ナドノ分ニ付テハ、唯一
眼ヲ無クシタノニ倍ダト云フヤウナモノデ
ナイト、サウ云フ意味ニ於キマシテ、實ハ
改正ガ加ヘラレテ居ル積リデゴザイマス、
ソレガマダ足ラナイト云フコトノ御意見デ
アリマスレバ、將來ニ於キマシテモ此症項
程度ナドヲ定メマス場合ニ、サウ云フ點ニ
留意致シマシテ、改正ノ參考資料ニシタイ
ト思ツテ居リマス、尙ホ御舉ゲニナリマセ
ヌ事柄ニ付キマシテモ症項程度ノ改正ヲヤ
ルヤウナ場合ニハ、無論緻密ニ考ヘタイト
思ヒマス、サウ云フヤウナ譯デ只今此法律
ノ問題ト致シマシテハ此程度ヲ更ニ變更ス
ルト云フ意思ハ政府ニゴザイマセヌ

此戰死者遺族ノ扶助料、是ハ又私ハ是非ト
モ此際増額シテヤラナケレバ氣ノ毒ナコト
デハナイカト思フノデアリマス、現ニ先達
テノ上海事變ガ起リマシタ時、九師團管下
ノ者デ召集ヲ受ケマシテ行ク時ニ、或ル若
者ガ警察ニ飛込ンデ自分等ガ出征スルニ當ッ
テ一番氣ニ掛カルノハ年取ツタ親デアル、
此生活ヲドウシテ吳レルノダト言ツタラ、警
察官ハソレハオ前ガ出テ行ケバ、後ハ面倒
ヲ見ルト云フヤウナコトヲ言ツタノデ、大變
喜ンデ出テ行ツタト云フ例モアリマス、ソレ
デ、然ラバソレガ戰死シタ後ハドウナル力
ト申シマスト、二等兵ダト云フト百五十圓、
一箇月ニ十二圓五十錢程度デアリマス、家
族一人ナラソレデモ宜イデヤナナイカト云フ
コトニナルカモ知レマセヌガ、サウハ參ラ
ナイ、戰死者ノ遺族ト云フモノハ、吾々ハ
モット厚遇シテヤラナケレバナラナイ、若
シ死ンダ者ハ「死ンダ者貧乏」ト云フヤウナ
觀念ヲ與ヘタリ、又靖國神社ニ祀ラレル者
ノ遺族ガ悲慘ナ狀態ニアルト云フコトヲ世
間ニ示シタナラバ、是コソ唯一ノ思想悪化
ノ宣傳ニナルノデアリマス、國家ノ爲ニ最
前線ニ出テ戰ヒマシテ、サウシテ死ンダ者

厚遇セニヤイカヌ、若シ之ヲ國家ガ怠リマシタナラバ、是コソ私ハ思想悪化ノ最大原因ヲ爲スモノダト思フノデアリマス、ソレデドウシテモ是ダケノコトハ進ンデ爲サナケレバナラナイ、殊ニ死ンダ者ハソレキリ、傷ヲ受ケテ居ル者、又ハ一般ノ人ガ老後恩給生活ヲシテ、更ニ扶助料ニ及ンダ者、其差ガ戦死者トノ間ニ非常ナ差ノアルヤウナ觀念ガ起ルコトガアリマシテハ、如何ニ傍デ軍事思想ノ普及ヲ唱ヘマシテモ、事實ニ於テ是ハ破レテ居ル、吾々ハサウ云フ悲慘ナ者ガ一人デモアルト致シマシタナラバ、吾々ハ靖國神社ニ祀ラレテ居リマス戰友ニ對シテ相濟マナインデゴザイマス、成程軍事救護法ガアリマセウ、併ナガラ是ハ聞ク所ニ依ルト寧ロ弊ガアル、潔癖ナ者ハドンナコトヲシテモ、斯ウ云フ風ナ取調ペナンカ受ケテハ堪ヘラレナイト云フ聲サヘモ中ニハアルノデアリマス、又村デハ軍事救護法ニ掛カル者ヲ出スコトハ不名譽ダト云フヤウナコトヲ變ナ理窟ヲ付ケテ、サウシテ出サナイデ居ル村モアル、サウ云フヤウナコトガアッテ、此遺族ト云フモノハ大變私共ノ知リマス範圍ニ於テハ困ツテ居ルノデアリマス、上ノ者ハ兎モ角、ドウシテモ此下士官兵ノ戦死致シマス多數ノ者ニ對シマシ

テハ、是ハドンナ公債ヲ發行致シマシテモ、何ニ致シマシテモ、之ニ酬ユルノハ國民ノ義務ダト思ヒマス、ワイ／＼騒グト云フト、所謂農山漁村ノ救濟ト申シマスコトニ付テハ、何億ト云フ公債ヲ發行スル、是等ノ者ニ對シマシテモドウシテモ御救ヒニナラナケレバイカヌ、是ハ次ニ來ルベキ戰争ヲ豫想致シマシタナラバ、國家ノ爲スベキ急務デヤナイカト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テドウカ御考慮ヲ加ヘラレタイト思フノデアリマスガ、如何ナモノデアリマスカ○権員政府委員　此點ハ先日モ御尋ガゴザイマシテ、御答申上ゲマシタモノ、一ツデ致ス譯デアリマス、唯之ヲ十分ニ致シマスルト云フト、御承知ノヤウニ非常ニ金ガ掛

リマスヤウナ譯デ、ソレハ今日ノ狀態トシテ恩給ダケノ建前カラ申シマスト中々困難ニハアルノデアリマス、又村デハ軍事救護法ニ掛カル者ヲ出スコトハ不名譽ダト云フヤウナコトヲ變ナ理窟ヲ付ケテ、サウシテ出サナイデ居ル村モアル、サウ云フヤウナコトガアッテ、此遺族ト云フモノハ大變私共ノ知リマス範圍ニ於テハ困ツテ居ルノデアリマス、上ノ者ハ兎モ角、ドウシテモ此下士官兵ノ戦死致シマス多數ノ者ニ對シマシ

テハ、是ハドンナ公債ヲ發行致シマシテモ、

モ、此改正案ニ特別ノ扶助料ト致シマシテ

ノデアリマス、國家ノ支出ニ於テハ恩給力ラ出ヤウガ、俸給豫算カラ出ヤウガ、其ヤリ方ノ違フダケデ、其點ハ確ニ直シ得ル、總歲出ニ於テ減ジ得ル見當ヲ私ハ有ツテ居リマス、行政整理デ根本ガ直リサヘスレバソコニ付キマシテハ、五年間ヲ期シテ假令三割

デハアリマスケレドモ其増額ヲシテ行クト

云フコトニ致シタヤウナ譯デ、沟ニ御説ノ

デアリマスガ、如何ナモノデアリマスカ

○権員政府委員　此點ハ先日モ御尋ガゴザ

イマシテ、御答申上ゲマシタモノ、一ツデ

アリマスガ、洵ニ御趣旨ノ點ニ於テ御同感

致ス譯デアリマス、唯之ヲ十分ニ致シマス

ルヤウナ譯デアリマス、若シ是ガ一般増額

デモ行ハレルヤウナ時機デアリマシタナラ

バ、御満足ノ行クヤウナ金額ガ此増額ニ充

テラレタコト考ヘテ居リマスガ、今申シ

マシタヤウナ事情デアリマス爲ニ、此程度ニ止メル外仕方ガナカツタヤウナ譯デアリ

マス

○八角委員　御尤ノ御答辯デアリマスガ、併シ私共ノ見ル所ニ依リマスト、恩給法ノ

改正ト云フモノハ、是ハ昨日喜多君カラ御

説明ガアリマシタヤウニ、根本問題トシテ

私ガ知ツテ居ル範圍デアリマスト、海軍ノ

算ノ減額ヲスル爲ニ、俸給豫算ハ増シマセ

ヌガ、併シ恩給トシテ國家ノ支出カラヤリ

ガ、吾々軍人ノ方ト致シマシテモ、一錢一

ル、現ニ私ハ算盤ヲ採ツテヤツタコトガアル

ノデアリマス、國家ノ支出ニ於テハ恩給力

ラ出ヤウガ、俸給豫算カラ出ヤウガ、其ヤリ

ト同時ニ、減ラスモノハ減ラス、是ハ先達

モ豫算總會ニ於テ私ガ所見ヲ申述べマシタ

ガ、改正ダラウト思フ、必要ノ爲ニ增加スル

モノハ出ス、不必要ナルモノハ減ズル、是

ト、此改正ト云フモノハ國家ノ必要ナル

デハゴザイマセヌガ、内閣ノ諸公ニ於テ断乎トシテ此根本ヲ整理サレル御決心ガア

レバ、私ハ確ニ減ラスコトガ出來ルト思

フ、ソコデ恩給ノ點ノコトバカリ考ヘマス

ト、此改正ト云フモノハ國家ノ必要ナル

モノハ出ス、不必要ナルモノハ減ズル、是

ガ、改正ダラウト思フ、必要ノ爲ニ增加スル

モノハ出ス、不必要ナルモノハ減ズル、是

ガ、吾々軍人ノ方ト致シマシテモ、一錢一

云フコトヲ考ヘルノハ至當デアル、同時ニ國民ノ國防ノ最小限度ヲ維持スル點ニ於テハ、進ンデヤルベキモノデアル、是ガ原則ダラウト思フノデアル、隨テ吾々ガ戰死者ノ遺族ヲ遇スルト云フ點ハ、是ハ國民ノ思想ヲ維持スル上ニ於テモ、絕對ニ必要ナリト云フ考ガ付キマシタナラバ、是ハ進ンデ増シテヤルベキモノデアル、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、併シ此點ニ付テハ御答ヲ御要求ハ申上ガマセヌガ、私ノ所見ヲ申上ゲマス、ドウシテモ是ハ進ンデオ遣リニナルベキコトデアル、殊ニ陸海軍ノ當局ニ於キマシテハ、是ハドウシテモ軍事豫算ヲ要求サレルト同時ニ、ソレト同一ノ熱意ヲ以テ是ハ御要求ニナラナケレバナラヌモノダト思フノデアリマス、是ハ吾々豫備ニナッタ者ガ申スノデハナイ、其局ニ當ラレル方ガ進ンデ爲サルベキコトデアル

次ニ公務ニ基因シテ死亡シマシタ者ノ増加恩給受給者ノ、遺族ノ扶助料ノ點デアリマス、是ハ本會議デ江藤君カラ質問ガアリマシタ、御答ハ御尤ナコトダガ、各般ノ事情ヲ考慮致シ、財政上ノ點ニモ思ヒヲ及ボシ簡年間三割増、斯ウ云フ結果ニナッテ居ル、

是ハ成程一面カラ申シマスト、有ルコトハ無イニハ優ルト云フ結論ニナルカモ知レマセヌ、併ナガラ重傷ヲ受ケマシタ者ガ、是ハ天壽ヲ全ウスルコトガ出來ナイト云フコトハ、明ナル事實デアリマス、何人モ是ハアリマス、ソレデ既ニ御同情ガアツテ此御改正ヲナサルナラバ、是デハ理論ガ一貫シナイ、何故ト申シマスト、公傷病デ死ニマシタ所ノ者ノ遺族ハ、十分ノ八ヲ給セラレル、サウシテ重傷ヲ負ッテ增加恩給ヲ受けル程ノ者ハ、僅ニ何年カ生延ビタ爲ニ、其死シダ者ト違ツタ御取扱ヲナサルト云フコトハ、是ハ理論ガ一貫シナイ、矢張是モ公傷病死者ノ遺族ト同様ニ、十分ノ八ヲ給セラレルノガ理論一貫シタコトデアルト思フ、是ハドウシテモ此御改正ノ機會ニ、此處マデ踏込ンデオ遣リニナツテ戴カナケレバナラナイト私ハ信ジマスガ、是ハ此處マデ持ツテオイデ下サイマシタ恩給局長ノ御苦心ノ程ハ、私ハ洵ニ諒ト致シマス、私ハ此點傳聞キマシテ、洵ニ感謝シテ居ルノデアリマスガ、ドウカ此點モウ一つ踏込ンデ御盡モノデゴザイマスカ

○八角委員 只今

○八角委員 只今ノ恩給局長ノ御答辯ハ、
洵ニ感謝致ス次第デアリマス、併シ此改正
ヲ一遍ヤリマスト、再ビ手ヲ著ケルト云フ
コトハ中々ムヅカシイノデアリマス、ソレ
デドウカ斯ウ云フ風ナ改正案ガ現ニ上ッテ
居ル時ニ、ドウシテモ是ダケノコトハヤツテ
置キマセヌト、又十年又十年ト云フコトニ
ナツテシマフト思フノデアリマス、是ハ其
處マデ政府ノ確タル御答辯ヲ私ハ望ミマセ
ヌケレドモ、是ハドウシテモ此機會ニヤラ
ス、必ズ延ビル、又十年引張ラレル、現

ニ満洲ニ於テ戰ヒ、色々ノコトヲヤッテ居ルノデアリマス、是ハドウシテ國家自ラノ意思ニ依テヤリマセヌト——吾々カラ要云ウ云フコトデヤツタソニ出デナカッタ昨日ノコトハ今日翻然トシテ改メテ、増シテヤルト云フ御態度デナケレバ、國民ハ納得セヌト思フ、ドウシテモ是ハヤラナケレバイカヌト思フノデゴザイマスカラ、ドウカ是ハ審議ヲ終リマスマデノ間ニ於テ、ドウシテモ之ヲヤルヤウニ御盡力ヲ御願致シマス、殊ニ軍部ノ方々ハ是ハ私ガ申上ゲルマデモナク、現役ニ居ラレル方ノ任務デアルト思ヒマス、此點ヲ改メテ申上ガテ置キマス次ニ申上ガタイノハ、下士官兵ノ恩給ノ限度、年齢ガ若クシテ斯ウ云フ恩給ニ達スルト云フコトデ幾分ヲ停止スル、是ハドウモ陸海軍ノ下士官兵ニ對シテハ非常ニ當缺ラヌデハナイカ、斯ウ考ヘルノデゴザイマス、併シ是ハ昨日恩給局長ノ御答辯ノ申ニ、陸海軍ノ者ニ對シテ相當差別ヲ設ケルノガ至當ダ、斯ウ云フ御答ガアリマシタ、即チ實ニ理解ガアリ、且ツ御同情ノアル御言葉ダト私ハ感謝致シテ居リマス、之ヲ聞キマシタ者ハ私ト同様、深ク此局長ノ御同

情ノアル御言葉ニ對シテハ感謝スルモノト
信ズルノデアリマス、併ナガラ實情ハドウ
カ、此表ヲ拜見致シマスルト、成程一寸一
見シマスルト、二十五歳未滿デ海軍ガ百二
十四人モ恩給ニ達スル、是ハ笠棒ナ話ダ
ト、事情ヲ知ラヌ方ニハ考ヘラレルカモ知
レマセヌガ、是ハ恐クハ少年電信兵ノ採用
ヲスル結果、斯ウ云フコトニナツタモノト
思ヒマス、曾テ私ハ水雷學校長ヲ致シマシ
テ、少年電信兵ヲ養ツタコトガアリマスガ、
是ハ私ガ發案シテ自ラ養ツタノデアリマス、
十六歳前後ノ者ヲ引張ツテ參リマシタノデ
スガ、何故其必要ガアルカト申シマスレ
バ、無線電信ハ技術上、是ハ遞信省ノ統計
ニ依リマシテモ、二十五歳ニナリマスルト
著シク技術ハ低下致シマス、ソレデ最モ戰
時ニ必要ナル、殊ニ海軍ノ戰鬪ニ於テ唯一
缺クベカラザル此無線電信ノ技術ヲ低下サ
セマセヌデ、益々向上發達致サセマスル爲
ニハ、ドウシテ少年電信兵ヲ養ハナケレ
バナラヌ、其爲ニ満十六歳ノ者ヲ引張ツテ
來テ、之ニ特別ナ教育ヲ與ヘ居ル、サウ
シテ恩給年限ニ達スル爲ニ、加算ヲ得マス
ル者ハ、ドウシテモ支那方面ニ活躍致シテ
居リマス、是ハ支那ト云ヘバ一概ニ日本ノ

俸ナンカ、支那近所ハ經度ニ依テ區別シナ
ケレバナラヌト思フ、譬ヘテ申シマスレ
バ、同ジ支那ニ居リマシテモ、上海ニ居リ
マスル者ト重慶トデハ、重慶ノ經度ハ新嘉
坡ト同ジ經度デアリマシテ、其邊ノ危險ナ
ルコトハ言語ニ絶シテ居ル、サウ云フ所ニ
居リマスル關係上、交代等ハ自由ニ出來ヌ
カラ、ツイ長ク居ル、厭デモ長ク居ラナケ
レバナラヌ、其結果加算ガ付ク、サウシテ
二十五歳ニモ達シテ技術ガ段々落チテ來ル
ト、滿期ニナリ豫備ニナルノデアルガ、若
クシテ恩給ヲ取ルカラト云フノデ、是ガ直
チニ六分ノ一ヲ停止サレル、是デハ人ヲ瞞
シテ連レテ求タヤウナモノデ、使フダケ
使ツテ、サウシテ出テ終ツタ時分ニ、若イト
言ツテ恩給ヲ減ズルト云フノハ、是ハ何ト
シテモ國家ガ是等ノ者ニ報ユル所以デハナ
イト思フ、下士官兵ノ恩給モ亦同様デアリ
マス、其他三十五歳ニ達スル者モ同様デア
リマス、皆下士官ニナリマスルト、現役ニ
タイト言フ者ハ滅多ニナイ、ソレヲ強定
員ノ關係其他カラ出スノデアリマス、是ハ
世ノ中ニ出ルト直グ、是ハ三十五歳未滿ダカ
タモト居リタイトハ申シマスガ、出テ行キ
昨日モ御話ガアリマシタ通リデ、サウシテ
カラ六分ノ一ヲ取上ゲル、四十歳未滿ダカ

ラ八分ノ一ヲ取上ゲルト云フ風ニ、是デハ約束ガ違フト言ハザルヲ得ナイグラウト思ヒマス、外ノ者ハ鬼モ角モ、特別ノ教育ヲヤツテ居ツテ、使フダケ使ツテ、サウシテ世間ニ出ルト、歲ガ若イカラ取上ゲル、是デハ國家ガ是等ノ者ヲ遇スル所以デハナイト思フ、ソレデ茲ニ年齢ニ依テ停止サレル規定ガアリマシタナラバ、之ニ對シテ陸海軍ノ下士官兵、又要シマスレバ警官ダトカ、監獄ノ職ニ從事シテ居ル者、此方面ノ恩給年限ニ等差ヲ付ケラレマシタ所ノ、差別ヲ要スル者ニ對シテハ、之ニ付テ除外例ヲ設ケラレルノガ至當ト思フノデアリマス、此點ハ如何ナモノデアリマセウカ

ガ相當デハナイカト云フ風ニ實ハ考ヘタ次
第デアリマス、陸海軍ノ軍人ノ分ダケニ付
テ低クシ、ソレカラ他ノ者ニ付テ高クセヨ、
サウ云フ區別ヲ認ムベキデハナイカト云フ
風ナ御話モアリマシタノデスガ、實ハ此法
律案ニ出シマシタ程度ハ、最低限度ヲ政府
ハ考ヘテ居リマスカラ、若シ之ニ區別ヲ設
ケルトスレバ、他ノ公務員ノ分ヲ引上ゲ
ル、モウ少シ率ヲ多クスルト云フコトニス
ルヨリ外仕方ガナイト思ヒマスガ、他ノ公
務員ニ付キマシテモ、巡查、看守ナドノ人
人ニ付キマシテハ、稍其事情ガ似テ居ルダ
ラウト思ヒマスカラ、是モサウ引上ゲル譯
ニモ參ラヌト云フ風ニモ考ヘラレマス、サ
ウシテ見マスルト、後ニ残ル者ハ、植民地
ニ居リマス所ノ判任官トカ、或ハ山林主
事、丁度山ノ巡查ミタヤウナモノニアリマ
スガ、サウ云フヤウナ者ダケガ殘ルノデ、
幾ラモ殘ラヌト云フコトニナリハシナイ
カト考ヘラレル、ト申シマスノハ、外ノ大
部分ノ公務員ハ、皆若イ年齢デハ恩給ヲ貰
ヘナイ、平均ノ受給者初給年齢別表テ御覽
ヲ願ヘバ分リマスヤウニ、斯ウ云フ若イ年
齡デハ恩給ヲ貰フコトニナリ得マセヌ、サ
ウ云フヤウナ譯デアリマスカラ、ソレ等ヲ
考慮致シマスルト、ドウモ其程度ガ宜シイ

ノデ、又其處ノ間ニ差別ヲ設ケル、實際問題ト致シマシテ差別ヲ設ケルト云フ程ノ必要ハナイト云フ風ニ實ハ考ヘマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○八角委員 只今ノ御話ハ私ガ申シマスコト、達ヒマス、陸海軍ノ下士官兵ノ如キハ、是ハ軍隊ニ於キマシテハ特別ナ教育ヲ致シマシテ、サウシテ軍隊以外ニハ使ヘナイヤウニ教育ヲスル、世間ニ出テモ使ヘルヤウニ教育ヲシタナラバ、兵隊ガ弱イ、使人上リト云フヤウナコトデ、就職難ト云フモノハ一層他ノ者ニ較ベテ甚シイ、サウスレバドウシテモ此恩給ト云フモノハ生活ノ唯一ノ資デアリマス、而モ此恩給年限ニ軍隊ガ早ク達スルト云フコトハ、困難ナル所ニ餘計勤務シタト云フコトデアル、其爲ニ國家ガ報ユルニ加算ヲスル、サウシテ世ノ中ニ飛出ス、年ガ若イノニ恩給ヲ貰ッテ居ルト云フコトデ、幾分ヲ停止サレルト云フコトハ、是ハ無理ヂヤナイカ、要求シテ居テ勤メサセテ居ツタ時ト、出夕後トデハ、マルデ間隔ガアル、是デハ最モ良好ナル下士官兵ヲ得ル所以デナイ、殊ニ海軍ノ如キ志テ勤メサセテ居ツタ時ト、出夕後トデハ、マルデ間隔ガアル、是デハ最モ良好ナル下士官兵ヲ得ル所以デナイ、殊ニ海軍ノ如キ志

優良ナル素質ヲ有ツテ居ル兵隊ハ得ラレナ
イ、ソレデ明ニ初メカラ恩給ノ年限ニ區別
ガアルノデアリマスカラ、同様ニ、出タ後
モ相當區別サレテ然ルベキ問題デアルト思
フ、ドウシテモ此受給者ノ年齢ニ依ル停止
ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ除外例ヲ
御設ケニナルノガ然ルベキヂヤナイカト思
ヒマス、既ニ恩給年限ニ付テ差別ヲ御認ニ
ナルナラバ此處デモ矢張差別ヲ御設ケニナ
ルノガ然ルベキデハナイカ、斯ウ云フ考デ
ス

アリマス、ソレハ恩給法カラモ當局方面トシテモ、亦政府ト致シマシテ考ヘマシテモ甚ダ困リマスノデ、或ル勤務ヲシタ時ニ後カラソレヲ見テ、サウシテ之ニハ恩給ヲヤルベキデアルカ、ヤルベキデナイカ、若シヤルナラバドウ云フ分量ノモノヲ與フベキカ、斯ウ考ヘテ恩給ノ制度ハ參リタイト思フ、恩給ヲ取ラセル爲ニ在職スルトカ、或ハ在職ノ便宜ヲ圖ル、或ハ個人デ申シマスルナラバ恩給加算ト云フヤウナ氣分ハ、之ハ防ギタイト思ヒマス、是ハ別ニ何處ノ官廳ニアルトカ言フノデヤアリマセヌガ、動モレバ受給者ノ方面デハサウ云フ氣分ヲ持ツ傾向ガアリマス爲ニ、サウ云フコトノナイヤウニ致シタイト實ハ考ヘテ居リマスノデ、今經過規定等ヲ置キマシテ緩和致シマシタノモ、別ニサウ云フ氣分ヲ助長スルト云フ譯デハアリマセヌガ、隨テ恩給ヲ取ラセル爲ニ在職サシテ居ル、ソレヲ防グ爲ニ附則ヲ置イタト云フ趣旨デハ無論アリマセヌガ、今之ヲ改正スルトスレバ、現業員ヲ國家トシテ考ヘテヤラナケレバイカスト云フ所カラ、附則ヲ置キマシタ譯デアリマス、約束ト申シマセウカ、暗黙ノ間ニサウ云フコトヲ考ヘテ居ル者ヲ裏切ルト云フコトダケハナイ積リデアリマス

○八角委員 私ハマダアリマスガ、長クナリマスカラ是デ一應止メマシテ、又次ノ機会ニ致シタイト思ヒマス
○津崎委員長 江藤君
○江藤委員 恩給法中改正法律案ノ理由書ヲ拜見致シマスルト、恩給總額ノ累増傾向ヲ防止スルト云フコトガ言ハレテ居ルノデアリマスルガ、此改正ニ依テ累増傾向ガ防止出來ルノデアリマスカ
○樋貝政府委員 昨日差上ゲマシタ刷物ノ中ノ改正法律案ガ國家財政ニ及ボス影響、ソレカラモウ一ツ改正法律案ガ地方財政ニ及ボス影響ト云フモノハゴザイマスガ、ソレハ大體御承知ヲ願ヒタイト存ジテ居リマスガ、實質的ニ申シマスルト、國家ノ恩給ガ累増シテ參リマスルノハ、約四年バカリ致シマスト 累増傾向ガ止リマス、其後ハ突發事項ガナイ限りハ、年々ニ累減シテ參ルダラウト思フ、併シ是ハ實質的ナ意味ト今申上ゲマシタガ、個人ノ國庫納金ヤ、地方團體カラ國庫納金ヲサシテ居リマスノヲ、此法律ニ依リマシテ増額シテ參ルコトガアリマスガ、ソレガ年額三百四十萬圓バカラアリマス、ソレカラ只今陸軍海軍ノ豫算デ約百八十萬圓バカリヲ、扶助金ト云フ名前デ一時金ヲ廢兵ノ方ニ給與シテ居リマス、

ソレガ消エテ恩給ノ方ヘ移リ變フテ參リマス、デアリマスカラサウ云フヤウナ國庫納金ノ増額トカ、又扶助金ガ豫算面カラ消エト云フコトノ方デハ、恩給ノ豫算金額ノ方ニハ影響ヲ及ボサヌコトニナリマス、國家トシテハソレダケノ支出減ニナリ、又收入増ニナリマスケレドモ、恩給豫算トシテハサウ云フコトニナツテ參リマセヌカラ、恩給ダケノ數字デ以テ漸増防止ノ形ヲ取ッテ行クノハ餘程先キニナリマシテ、十五年後位ニナルグラウト思ヒマス、尤モ之ニ付キマシテハ日露戰爭當時ノ公務傷病ニ依テ恩給ヲ貰ツテ居ル人達ガ、急角度ニ段々少クナツテ參リマス、ソレカラモウ一ツ海軍ノ方ノ三等下士ノ恩給デアリマスガ、是ガ不景氣ノ關係デ大正十二年現行恩給法が出來上リマシタ爲ニ、三等下士ノ恩給ニナラナイデ出テ行クト云フヤウナ場合ガ殖エテ參リマガアリマスカラ、ソレヲ思ヒ合セマスト、雲フコトヲ考ヘテ居リマス、又地方ノ財政特別事項ガナイ限り、十年ヲ出デズシテ恩給ノ數字其物モ下ヘ向イテ行クデアラウト

ナ譯デアリマシテ、實質的ニ申シマシテモ、十五年後位デナケレバ漸増防止ハ出來ナイト考ヘテ居リマス、ソレハ地方恩給ガ今日年額ニ致シマシテ約四千萬圓宛支給シテ居リマスガ、近頃ノ累増ハ平均致シマスト二百八十八萬圓バカリデアリマス、最近ハ二百八十萬圓ヨリ多イ年ガ續イテ居リマスガ、平均致シマスト二百八十八萬圓デアリマス、四千萬圓ニ對スル二百八十八萬圓デアリマシテ、國庫ノ一億四千萬圓ニ對スル四百萬圓ヨリカ遙ニ率ガ越エテ居リマス、サウ云フヤウナ譯デ地方ノ方ニハ今度ノ恩給法改正ノ及ボス影響ガ、割合トシテハ強ク働キマスケレドモ、結果ニ現ハレマス所ハ年數ハ國庫ノ場合ヨリカモ延ル、十五年後位デナケレバ實質的ノ漸増防止モ出來ナイコトニナルダラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス
○江藤委員 現行恩給法竝ニ今度ノ改正法律案ニ依リマス恩給法ニ依ル普通恩給額ト云フモノガ、大體ニ於テ一般社會ノ生活程度ニ鑑ミマシテ、多過ギルト云フコトハ考ヘラレナイト思フノデアリマス、現行恩給額ガ多過ギナイト考ヘマスルト、國家ガ一段發展ヲシテ行キ、隨テ官吏モ殖エテ來ルト、色々ナ方法ニ依テ恩給ヲ受ケル者モ多クナリ得ルノデアリマシテ、恩給總額ガ累

増シテ行クト云フコトハ、是ハ當然ナコト
デハナイカト思フノデアリマス、能ク恩給
亡國ト云フコトヲ聞クノデアリマスケレド
モ、不合理ニ恩給ヲヤルト云フコトハ、是
ハ是正シナケレバナリマセヌケレドモ、國
家ニ貢献シタ者ニ或ル程度ノ恩給ヲヤル、
相當ナ恩給ヲヤル、殊ニ陸海軍人ノ如キハ、
殆ド社會的ニ使ヘナ片輪者ヲ製造スルノ
デアリマシテ、陸海軍デ研究シテ居ルコト
ハ、一般社會ニ於テハ殆ド用ヲ爲サナイ、
又一般ノ公務員ニ致シマシテモ、サウ云フ
點ニ於テハ陸海軍程デハアリマセヌケレド
モ、確ニサウ云フ嫌ハアルノデアリマ
ス、ソレデアリマスカラ恩給額ガ殖エテ行
クト云フコトハ、ソレハ國力ト共ニ殖エテ
行クノデアリマシテ、是ハ心配スルコトハ
ナイ、大ニ喜ブベキコトデアラウト私ハ考
ヘルノデアリマス、デアリマスルカラ、唯財
源如何ニアルノデアリマス、財源ハソレハ
又他ニ求ムベキ所ガ大ニアリハセヌカ、增
稅ヲスルトカ、色々ナ經濟機構ノ或ル改變
ヲ行フトカ云フヤウナ、當然行ハナケレバ
ナラナイコトヲ行ツテ、サウシテ其財源ヲ得
テ此恩給ノ方ニ持ツテ行クト云フコトニ致
シマスルナラバ、サウ心配スルコトハナイト
思フノデアリマスガ、政府當局ニ於カレマ

シテハ、現行恩給法ニ依ル恩給額ト云フモ
ノガ、今日ノ一般社會ノ生活状態ニ比較致
シマシテ、大體ニ於テ多イト云フ御考デア
リマスカ、如何デアリマスカ

○権員政府委員 只今ノ御説ノ通り、之ヲ
受ケマス方ノ個人カラ見マスレバ、必シモ
是デ多イトハ考ヘラレナイグラウト思ヒマ
スガ、如何ナル場合ニ於キマシテモサウデ
アリマセウガ、今日ノ我國ニ於ケル經濟力
ト申シマセウカ、負擔力ト申シマセウカ、
結局是トノ比率ノ問題グラウト考ヘテ居リ
マス、恩給受給者ガ今日ニ於キマシテ約四
十萬——四十萬一寸缺ケテ居リマスガ、扶
助料其他ヲ加ヘマシテ三十八九萬ト思ツテ
居リマスガ、之ヲ取巻キマス所ノ家族ト云
フヤウナ者ガ假ニ五人ト致シマシテモ、二
百萬人ト云フモノニナリマス、其爲ニ支出
致シマスルモノガ、年々ニ於テ一億四五千
萬圓ト云フモノニナリマスガ、サウ云フモ
ノヲ考ヘ合セマスト、ソレハサウ小サクナ
イト言ハザルヲ得ナイト思ヒマス、ソレデ
公務員ノ數モ段々國家ノ發展ト共ニ増シテ
參リマス爲ニ、其自然ノ結果トシテ恩給額
ハ増シテ參リマス程度デアルナラバ、ソレ
ハ敢テ憂フルニ足ラナイ、相當デアルト考
ヘテ居リマスガ、ソレノ増シテ參リマス率

ヨリカモ、モット高率デ今日、又過去十年
バカリノ間ニ於キマシテ恩給ガ增加シテ居
リマス、其趨勢ダケハ少クトモ取ラナイト
不安デアル、斯ウ思フ、斯ウ増額シテ行キマ
シタカラト云ツテ、此恩給總額ガ何百億ニ
モナルト云フモノデハ無論アリマセヌデ、
是カラ三十年トカ、或ハ三十五年トカ經チ
マスレバ、最高ノ程度ニ達スルグラウト思
ヒマスガ、サウ云フ所マデ参リマスト、恩
給額ハ三億トカ、四億ト云フモノニナラヌ
トモ限リマセヌノデ、サウ云フマデニ國力
ノ方ガ非常ニ發展シテ参リマスレバ宜シウ
ゴザイマスガ、サウモ今ノ狀態トシテハ考
ヘラレマセヌノデ、サウ云フ點カラシテ著
シキ漸増ハ之ヲ防止シナケレバナラヌト云
フコトガ、必要ニナツテ参リマス

○江藤委員 現在ノ恩給總額ガ一億五千萬
圓程度デアルノデアリマスガ、是トテモ歲
出豫算ニ較ベテ非常ニ多イト云フヤウナ議
論ガ相當ニアルヤウニ承ツテ居リマス、併
ナガラ本年ノ歲出豫算ハ二十二億三千萬
圓、二十二億三千萬圓ニ對シテ一億五千萬
圓——一體私ハ此二十二億三千萬圓ト云フ
モノガ、必シモ日本ノ今日ノ社會ノ大勢ニ
順應シテ行カウト云フ日本ノ立場カラ考ヘ
マシテ、驚クベク多イモノトハ一ツモ考ヘ

ヌノデアリマス、亞米利加ニ致シマシテモ、
英吉利ニ致シマシテモ、佛蘭西ニ致シマシ
テモ、日本ヨリモグット多イ豫算ヲ以テヤッ
テ居ル、此二十二億三千萬圓ト云フモノガ
サウ將來減ルモノヂヤナイ、又減ラサナク
テモ宜イ、大ニ日本モ滿洲ニ發展ヲシ、又日
本ノ内地ニ於テモ經濟力ヲ增進致シマシ
テ、益ニ二十一億ドコロデハナイ、是ガ二十
五億ニモ三十億ニモナルヤウニナラナケレ
バナラヌト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、
サウ考ヘマスルト、二十二億三千萬圓ト致
シマシテモ、一億五千萬圓ト云フモノハ僅
ニ一割四分位ニシカ當ラヌノデアリマス、
デアリマスガ、無論不合理ナ恩給ヲヤルト
云フコトハ、是ハ是正シナケレバナリマセ
ヌケレドモ、サウ恩給亡國ダト言ツテ驚ク
ヤウナコトハナイト私ハ信ズルノデアリマ
ス、就キマシテハ政府ニ御願ヲシタイト思
ヒマスコトハ、歐米各國ニ於ケル歲出豫算
ト恩給額ノ比率ヲ御示ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス

○権員政府委員 外國ニ於キマスル歲出
ト、ソレカラ恩給豫算、恩給金額ト云フモ
ノトノ比率ガドウナルカト云フコトニ付キ
マシテ、實ハコヽ二年バカリ調べテ見マシ
タ、海外ノ方ナドニモ、恩給當局カラ依頼
テ居ルカ能ク分リマセヌ、サウ云フ状態ニ
國ニ於ケル歲出ノドノ程度ニ日本ノ恩給法
ニ依ルヤウナ恩給ガ組入レラレテ居ルカト
云フコトハ、シッカリ分リマセヌ、過去ニ於
テモ宜イ、大ニ日本モ滿洲ニ發展ヲシ、又日
本ノ内地ニ於テモ經濟力ヲ増進致シマシ
テ、益ニ二十一億ドコロデハナイ、是ガ二十
五億ニモ三十億ニモナルヤウニナラナケレ
バナラヌト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、
サウ考ヘマスルト、二十二億三千萬圓ト致
シマシテモ、一億五千萬圓ト云フモノハ僅
ニ一割四分位ニシカ當ラヌノデアリマス、
デアリマスガ、無論不合理ナ恩給ヲヤルト
云フコトハ、是ハ是正シナケレバナリマセ
ヌケレドモ、サウ恩給亡國ダト言ツテ驚ク
ヤウナコトハナイト私ハ信ズルノデアリマ
ス、就キマシテハ政府ニ御願ヲシタイト思
ヒマスコトハ、歐米各國ニ於ケル歲出豫算
ハ、歲出八億磅ニ對シマシテ、軍人ノ恩給方
分ツテ居リマスノデスガ、英國ニ於キマシテ
ハ、歲出八億磅ニ對シマシテ、軍人ノ恩給方
分ト云フコトニナリマス、ソレカラ米國ニ
於キマシテハ、歲出四十二億弗ニ對シマシ
テ、恩給ガ二億三千萬弗ニナツテ居リマス、
其比率ハ五分三厘ト云フヤウナコトニナツ
テ居リマスガ、最近ノモノガドウナツテ居ル
カハ分リマセヌ、他ノ國ノモノモ手許ニ色々
ノ國ノモノモアリマスガ、ドノ程度ニナツ
ヤウナ考ヘカラ、之ヲ薄クスルト云フヤウ

ナコトハ、私共ハ絶対ニ反対セザルヲ得ナ
イノデアリマス、私ハ軍人ノ方ハ能ク存ジ
マセヌガ、軍人軍屬ニ對シテノ、殊ニ傷病
者ニ對スルヤウナコトニ付テハ、洵ニ冷酷
極マルヤウナ恩給制度ニナツテ居ルト私ハ
考ヘテ居ル、丁度世界大戦ノ際ニ私ハ亞米
利加ニ留學致シテ居リマシタガ、出征軍人
ニ付テハ、國家ガ特ニ保険法ヲ作リマシテ
サウシテ死亡者及傷病者ニ對シテ厚キ給與
ヲ致シテ居ル、ドウモ恩給法デ一般ニ縛ラ
レテ、殊ニ極ク優遇ヲサレテ居ラヌ、斯ウ
云フ者ヲ、戰時軍人ガ出征致ス場合ニ之ヲ
適用致スト云フコトハ、如何ニモ私ハ恩給
法ガ、相當國家トシテ見テ居ラナイト云フ
感ヲ致スノデアリマスガ、恩給法ノ上ニ於
テ之ヲ改正シテ戴クコトガ出來ナイトスル
ナラバ、他ノ方法ニ依テ、或ハ出征保険ト
云フヤウナモノヲ國家ガヤッテ、サウシテ
國家ガソコニ補助金ヲ出シテ、相當之ヲ待
遇スルト云フヤウナコトデモ、同時ニ行ヒ
得ルナラバ、非常ニ結構ダト考ヘテ居ル次
第デアリマス、英國ニ於ケル恩給ガ非常ニ
優遇デアルト云フヤウニ、私ハ了解致シテ
居ル點ト、又軍人、軍屬ニ對シテ出征ノヤウ
ナ非常時ノ場合ニ於キマシテ、此恩給法デ
是デ足レリト御考ヘニナツテ居ルト云フコ

トハ如何カト存ズル、或ハ國家ガ出征保險
ノ如キモノヲ組織サレマシテ、之ヲ優遇ス
ルト云フ途ヲ同時ニ開クト云フヤウニ御考
ヲシテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、政
府委員ノ御意見ヲ伺ヒマス

○櫻貝政府委員 只今喜多サンカラノ御尋
デアリマスガ、英國ニ於ケル恩給ハ日本ヨ
リモ宜イデヤナイカト云フコトノ御尋デゴ
ザイマシタガ、實ハ私普通ノ恩給額ニ付キ
マシテハ、英國ハ最高限二分ノ一トシテ居
ル、ソレカラ最下限ハ八十分ノ十、即チ八
分ノ一ト基礎ヲ置イテ居ル、而シテ其基礎
俸給ト申シマスノハ、最終三年間ノ平均俸
給ニナツテ居ル、日本ヨリカモ餘程惡イト
考ヘテ居ル、ソレカラ傷病恩給ニ付キマシ
テハ、廢兵ナドノ傷病恩給デゴザイマスガ、
之ニ付キマシテハ茲ニ現ハシテ置キマシタ
ノハ、獨、佛、英、米、墺、ソレカラ最近ノ
國際聯盟——國際聯盟ノハ瑞典ノ恩給法ト
マシテモ我國程宜イノハアリマセヌ、是ハ
ヌデシタガ、大正十二年ノ公務傷病ニ依ル
恩給ニ付テハ、著シイ増加ヲ致シマシタ、
世界ノ何レノ是等ノ國ヨリカモ遙カニ多
イ、其點ニ付テハ御諒承ヲ願ヒマス

○喜多委員 第一問ニ付キマシテ御答デゴ
ザイマシタガ、二分ノ一ト云フノガ最大限
度ニナツテ居ルト云フ御話デアリマスガ、普
通長ク勤メテ居ツテ、サウシテ判任デ一級俸
給料全額ニ近イ所ニ行ツテ居ルト云フコト
ヲ記憶致シテ居リマスガ、其點更ニ確メテ
置キタイ、ソレカラ第二點、軍人ニ對シテ、
足レリトナスツテオイデニナルカ、是デハ
如何ニモ氣ノ毒デアルカラ、他ニ保険ノヤ
ウナモノヲ作ツテ、サウシテ之ニ相當ノ待遇
ヲ與ヘルト云フ御考ハ、毛頭御持チニナツテ
居ラヌカ、其點ヲ伺ヒマス

○櫻貝政府委員 只今ノ英國ノ分ニ付キマ
シテハニ一分ノ一デ、總テ最高一分ノ一ニナ
シテ居ル、或ハ喜多サンノ御考ニナリマシタ
ノハ、佛蘭西又ハ獨逸邊リデハゴザイマセ
ヌデセウカ、佛蘭西ニ於キマシテハ四分ノ
三マデ參ツテ居ル、但シ恩給額ガ絶対額ト致
シマシテ、千八百法ヲ越ユルコトヲ得ズト
云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ恩給外
ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナ人々ニ付
スルガ——中ニハニ等兵、一等兵ト云フノ

モアリマスガ、假令上等兵ニナリマシテ

モ、其戰死者ニ對シテハ年額約百八十圓デ

アリマシテ、月額十五圓ニシカ當ラヌノデ

アリマス、此少額ヲ以テシテ名譽アル戰死

者ノ遺族ノ生活ヲ保障スルニ、是デ政府ハ

十分デアルト御考ヘニナツテ居ルノデアリ

マセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○糧貝政府委員 必シモ十分ダトハ考ヘテ

居リマセヌガ、併シ田舎ナドヘ參リマシテ

實際ヲ見マスルト、恩給受給者ハ、物價ガ

非常ニ高カツタ時代ハ別デアリマスガ、物價

ノ安クナツタ近頃ニ於キマシテハ、場合ニ依

リマスト稍羨望ノ的ニナルト云フヤウナ者

ウ参ル譯デハアリマスマイガ、サウ云フヤ

ウナ部分モアルノデアリマス、扶助料ト致

シマシテハ、殊ニ戰傷者ナドノ、公務傷病

ノ爲ニ死ンダ人々ノ遺族ノ扶助料ト致シマ

シテハ、餘り多イトハ考ヘテ居リマセヌ、

是デ全ク十分ダトハ必シモ考ヘラレマセヌガ、一概ニ遺族ト申シマスガ、遺族ニモ色

山ニ子供ヲ抱ヘテ居ルヤウナ寡婦ミタヤウ

ナ者モアリマス、ソレカラ又一番終ヒノ息

子ガ行ツテ戰争デ死ンダ、ドッヂデモ宜イト

云フコトハ語弊ガアリマスケレドモ、比較

的ニ其家トシテハ重要デナイヤウナ子供ガ

死ンデ、サウシテ其親ガ——養父ナドガ扶

助料ヲ貰フ、其親ガ而モ若イト云フヤウナ

場合モアリマス、色々ナ場合ガアリマスガ、

特ニ取上ゲテ、能ク例ニ出サレルヤウナ、

憐レナ、サウシテ最モ貧困ナヤウナ例バ

カリ取りマスト、到底此額デハ十分デナ

イ、十分デナイトコロデハナイ、非常ニ少

イト考ヘラレルノデアリマス、又サウデナ

イ方ノ極端ナ例ヲ舉ゲマスト、是デモ十分

ダト云フ風ニ考ヘラレルモノモアリマス、若

シ裁定官廳邊リニ手持豫算デモアリマシ

テ、隨時適當ニ裁量シテ、此恩給金額ヲ增

減スルコトガ出來ルヤウニデモアリマスレ

バ、其實情ニ應ジタヤウナ給與ガ出來マセ

事柄ハ、洵ニ理想トシテサウ云フ風ニ進ム

ウケレドモ、是ハ又一面ニ於キマシテハ、

裁定官廳ノ認識ガ間違テ居ルヤウナ場合

モアリマセウシ、弊害モ伴ヒマスカラ、サウ

ラ訂正致シマス

○八角委員 只今江藤サンノ御質問ニ御答

ガアリマシタガ、私ハ畏多イ例ヲ引クヤウ

ツカノ恩給法ヲ整理統一致シマシタノデ、

場合モアリマス、ソレ故假令一人ト

雖モ戰爭デ死ンダ者ノ遺族ガ救ハレナカッ

タナラバ——是ハ御救ヒニナルノガ當リ前

デアル、若シ樂ナ生活者ガ出來マシタナラ

バ、是ハ皆國民ガ喜ンデ倣フ基準トナルベ

キモノデアル、日本ノ國體ニ於キマシテハ、

戰爭ニ參リマシテ一人ト雖モ救ハレナイ者

ガアリマシタナラバ、是ハ御救ヒニナルノ

ガ日本ノ國體デ當リ前デアルト思ヒマス、

此點ドウカ政府ニ於テ御再考ヲ願ヒタイト

思ヒマス

アリマスカ

○糧貝政府委員 是ハ大正十二年ニ四十幾

ツカノ恩給法ヲ整理統一致シマシタノデ、

其當時ニ於キマスル現行法ヲ主ニ材料ト致

シマシテ新恩給法ガ出來上ツテ居ルヤウナ

譯デゴザイマス、ソレデ其場合ニ於キマシ

テモ、從來三分ノ一デアツタノヲ二分ノ一ニ

引上ゲマシタ、扶助料ノ點ニ付キマシテハ、

當時ニ於キマシテモ斟酌ヲ加ヘタヤウナ次

テモ、從來三分ノ一デアツタノヲ二分ノ一ニ

引上ゲマシタ、扶助料ノ點ニ付キマシテハ、

當時ニ於キマシテモ斟酌ヲ加ヘタヤウナ次

テモ、從來三分ノ一デアツタノヲ二分ノ一ニ

引上ゲマシタ、扶助料ノ點ニ付キマシテハ、

當時ニ於キマシテモ斟酌ヲ加ヘタヤウナ次

テモ、從來三分ノ一デアツタノヲ二分ノ一ニ

引上ゲマシタ、扶助料ノ點ニ付キマシテハ、

當時ニ於キマシテモ斟酌ヲ加ヘタヤウナ次

テモ、從來三分ノ一デアツタノヲ二分ノ一ニ

アリマスカ

○江藤委員 政府ニ御尋シタイト思ヒマス

ノ答申ヲ見マスト云フト、扶助料ニ付キマ

シテハ一定ノ條件ノ下ニ家族手當ヲ併給ス

ル等ノ制ヲ創設スルト云フト、扶助料ニ付キマ

アリマスカ

五十錢デモ飢ヲ凌グ位ノコトハ出來ルカモ
知レマセヌガ、之ニ家族ガ相當アリマスル
ト云フト、是ハモウ到底御粥モ啜レヌト云
フヤウナ状態ニナルノデアリマスルカラ、
其點ヲ考慮セラレテ、此答申事項ニ擧ゲラ
レテアルモノト思フノデアリマス、此待遇
審議會ヲ見マスルト、是ハ勅令ニ依テ官制
トシテ發布セラレテ居ルノデアリマスルカ
ラシテ、是ハ相當權威アルモノト思ハレル
ノデアリマス、而モ此答申タルヤ其最小限
度ヲ示サレテアルノデアリマスルカラ、今
回ノ恩給法改正ニ當リマシテモ、少クモ此
答申事項ニアル位ノコトハ御改正ニナルコ
トガ必然デアルト私共ハ期待シテ居ツタノ
デアリマスルガ、政府ニ於カレテハ、只今局
長ノ御話ニモ、色々ナ家族ノ状況ニ依テ斟
酌ヲスルト云フコトヲ御認メニナツテ居ル
ヤウデアリマスルガ、是等ノ點ニ付テ御改
正ニナル御意向ハアリマセヌデセウカ

○糧貿政府委員 受給者ノ家族ニ依テ給與
額ヲ多少ニシテ、或ハ多ク、或ハ少クシヨ
ウト云フコトモ、十分考ヘラレマス事柄デ
アリマス、政府ガ今回ノ改正案ヲ作リマス
ルニ付キマシテハ、其事ヲ無論念頭ニ置イ
テ考慮致シタ譯デアリマス、廢兵審議會ノ
答申ヲ全然無視シテヤツタ譯デヤゴザイマ
セヌガ、一般問題ト致シマシテ給與ヲ受ケ
ル者ノ需要ノ方カラ其額ヲ決定スベキデア
ルカ、即チ入用ノ方ヲ給與額ノ測定標準ニ
ナスペキデアルカ、或ハ其給與ヲ受クル者
ガアリマスルガ、功績ト申シマスカ、勞務
其他ノ勤ラシテ居リマス其方ノ價值ヲ標準
ニスペキモノデアルカ、主ナル標準ガ何方
ヲ主ニスペキデアルカト云フコトハ、餘程是
ハ一般賃銀ナドニ關シマスル理論ニモ共通
デアリマセウケレドモ、非常ニ考ヘナケレ
バナラヌコトデアリ、ムヅカシイ問題デゴ
ザイマス、急ニ之ヲ受給者ノ方ノ需要ニ應
ズルト云フコトダケヲ標準ニシテ、其給與
ハ一寸出來兼ネマス、是ハ俸給ニ付キマシ
テモ同様デゴザイマスガ、家族ガ多イ、或
正案ニ於キマシテハ、家族數ヲ以テ其恩給
額ノ高ニ等差ヲ設ケルト云フヤウナコト
ハ致シマセナカツタヤウナ次第デアリマス
ウ云フ位地ニ在ツテモ澤山ノ金ヲヤル、俸
給ヲ出ス、ソレカラドウ云フヤウナ位地ニ
在リ、ドウ云フ風ナ仕事ヲシテ、ドンナ經
費ガ少クテ濟ムト云フヤウナ人間ニハ少
イ俸給ヲヤル、斯ウ云フヤウナコトモ出來
マセヌノデ、俸給ニ付テモ同様ナ問題ガアリ

マスノデスガ、大體ニ於キマシテハ、從來
アツタヤウナ其人間ガドウ云フ風ナ位地ニ
在リ、ドンナ仕事ヲシテ居ルカ、ドンナ經
歴ヲ經テ居ルカト云フヤウナコトヲ、抽象
的ニ標準ニ取りマシテ、俸給デモ恩給デ
ク、斯ウ云フコトヨリ外ニハ仕方ハナイト
モ之ヲ支給シテ行ク、ソレデ額ヲ決メテ行
思ツテ居リマス、家族ノ數ニ依リマシテ、
恩給ナリ手當ナリノ額ヲ二三ニスルト云フ
例ハ、佛蘭西ニ戰時中ゴザイマシタ、ソレ
ハ無論戰時當時ノ手當デアリマシテ、特殊
ナ別ノ理由デ此制度ガ試ミラレタコトガア
リマス、特別ナ事情カラ出テ參リマシテ、
サウ云フ給與ヲスルト云フヤウニナリマス
レバ、別個ニ恩給制度以外ノ一種ノ救恤ト
云フコトカラ之ヲ解決スル方ガ、寧ロ適當
デアルト云フ風ニ考ヘマスノデ、今度ノ改
正案ニ於キマシテハ、家族數ヲ以テ其恩給
額ノ高ニ等差ヲ設ケルト云フヤウナコト
ハ致シマセナカツタヤウナ次第デアリマス
ガナイト思ツテ居リマス

○江藤委員 サウ致シマスルト、審議會ノ
答申ニアリマスル事項ニ付キマシテハ、恩給
法ノ改正ニ依ラズシテ別途ニ依ルト云フ御
考デアルヤウニ今承リマシタガ、此審議會
ノ答申ノ要綱ヲ見マスルト、斯ウ書イテア
ルノデアリマス、「右恩給増額ニ關スル各種
モ御尋ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、此答

申案ト云フモノガ、只今御話ノヤウニ参考ニスルダケノモノデアリマスルナラバ、私ハ言フコトハナイノデアリマス、併ナガラ私ハサウ云フ輕イモノデナイト此答申案ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此癡兵審議會官制ニ依テ色々ナ人ガ入ラレ、陸軍大臣ガ會長トナリ、而モ長イ間掛ツテ練リニ練ツテスウ云フ案ガ答申サレタノデアリマス、殊ニ最後ノ會長ノ挨拶ヲ見マシテモ、此遺家族ノ待遇改善ト云フコトニ付テハ、將來其精神ノ普及、及徹底ニ付キ御盡力下サルヤウ切望致シマス、斯ウ言ツテ居ルノヲ見マシテモ、如何ニ此點ニ付テ重キヲ置イテ居ルカト云フコトガ分ルノデアリマスガ、一時賜金、癡兵ノ増加恩給ニ付キマシテモ、此ノ答申案ニ依リマスト、第一款、第二款ハ増加恩給、第三款、第四款ガ特殊年金、第五款以下ヲ一時賜金、即チ重イ者ハ增加恩給フヤリ、之ニ亞グ者ヲ特殊年金ニシ、輕イ者ヲ一時賜金ニスル、斯ウ云フ風ニ答申サレテ居ルノデアリマスルガ、今回ノ改正ニ依リマスト、其増加恩給ト云フコトガナクナッテシマヒマシテ、重イ者モ皆特殊年金ニナッテ居ルノデアリマス、何故私ハ政府ガ此扶助料デアルトカ、或ハ憐レナル癡兵ノ恩給ト云フヤウナモノニ付テ、而モソレガ

至ツテ少數デアルニ拘ラズ、之ヲ御引キニナルノデアリマセウカ、御引キニナルナラバ何故外ノ一般ノ身體ノ達者ナ者ノ恩給カラ御引キニナラヌノデアリマセウカ、是ハ非常ニ多數デアリマス、デアリマスルカラ僅カデモ之ヲ御引キニナレバ財源ガ出ル、此憐レナ者ヲ御同情ニハナシテ居ルノデアリマセウケレドモ、此答申案ニアルコトデサヘモ、實現ヲ見ルコトガ出來ナイト云フコトハ、私ハ如何ニモ殘念ニ思フノデアリマシテ、是等ノ財源ニ付テハ色々改正シテ得ル所モアルノデアリマセウガ、事實恩給ヲ質ニ置キマシテ、サウシテ他人ガ受取ツテ居ル、受給者ハ疾ニ死ンデシマツテ居ル、併ナガラソレガ分ラヌ爲ニ他人ガ恩給ヲ受取ツテ居ルト云フ事實ガ少クハナイノデアリマス、是等ヲ御調査ニナリマスト云フト、ソレダケデモ相當ナ財源ガ得ラレルノデアリマスルガ、是等ノ調査ニ付テハ大藏省ガ金ヲ出シマセヌノデ、私ノ記憶ニ依リマスルニ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此答申案ニアルダケノコトハ實現スルヤウニ、御力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此一時賜金、癡兵ノ増加恩給ヲ御止メニナリマシタノハ、ドウ云フ譯デ御止メニナリマス

○糧貢政府委員 答申案ニ付キマシテハ、先程政府ハ之ヲ参考トスルト申上ゲマシテ、参考程度デハイカスト云フヤウナ御意見モノノ調査費ヲ大藏省ガ否決スルナント云フコトヲ私ハ記憶シテ居リマス、斯ウ云フガ、此調査ニ付テ何デモ五萬圓位ノ新規豫算ヲ申出タ所ガ、是ガ否決ニナッテ居ルト云

調査ヲスレバ正當ニ金ガ使ハレル、法網ヲ潛ツテ不正當ノ恩給ヲ受取ツテ居ル者ガアル、ソレヲ調査スルノニ其費用ヲ出サヌト云フヤウナ無理會ナ大藏省ハ大イニ是ハ責メナケレバナラヌト思フ、サウ云フ點ニ依テ財源ヲ見出シテ、同情スベキモノヲ大イニ優遇シテヤル、ドウモ私此建議委員會ノ時ニモ申上ゲタノデアリマスガ、弱イ者ガ常に押付ケラレテ居ルト云フヤウナ現状デアルコトヲ、私ハ如何ニモ殘念ニ思フノデアリマス、此聖代ノ御代ニ於キマシテ弱イ者ガ窮メラレテ、強イ者ガ横暴ヲスルト云フヤソレガ分ラヌ爲ニ他人ガ恩給ヲ受取ツテ居族扶助料ノ如キハ、眞ニ弱イ女ヤ子供或ハ老人ガ受取ルノデアリマスカラ、是等ニ對シテハ十分ニ御同情下サイマシテ、少クモノ給漸増防止ト云フコトハ全然思ヒモ寄ラズ、餘程金額ガ掛ルダラウト思ツテ居リマス、ソレデ無論十分ト云フコトハ出來ナイ、成べク今ノ目的ニモ副ヒナガラ、且ツ此傷病者ノ給與ヲ増シテ行キタイト云フコトニナリマスト、ドウシテモ此案ニ現レマシタヤウナ方法及程度デ行カナケレバナラヌト云フコトニナリマス、ソレニ付キマシテモ答申案ノヤウナ趣旨モアリ、且又一時賜金、癡兵者ノ中ノ傷病程度ノ稍重キ者ニ付キマシテハ、實質的ニモ之ニ同情スペキモノガアリマスノデ、今回ノ傷病年金ノ案ニ於キマシテモ、今日陸海軍ノ豫算デ給與シテ居リマス扶助金ヨリハ、全般ニ幾ラカナリト

モ増シテ居リ、殊ニ第一款症、第二款症ト
云フヤウナ程度ニ付キマシテハ、割合ニ餘
分ニ増シテ置キマシタヤウナ譯デ、是等ノ
點ニ付キマシテ、答申案ノ趣旨ヲ決シテ無
視シテ居リマセヌ、考慮ハ加ヘテ居ル譯デ
アリマス、答申案通リニ行キマセヌデシタ
理由ノ主ナルモノハ、只今申上ゲマシタヤ
ウナ事情デアリマス

云フヤウナ程度ニ付キマシテハ、割合ニ
分ニ増シテ置キマシタヤウナ譯デ、是等ノ
點ニ付キマシテ、答申案ノ趣旨ヲ決シテ無

ル新規受領人員並ニ金額及権利消滅ノ人員
ト金額ヲ、各公務員別ニ致シマシテ、恩給
額ヲ御示シヲ願ヘマスルト幸デアリマス、
是ダケ御願シマス

メテヤツタ例ニハナラナイノデゴザイマス
ガ、サウ云フ種類ノモノガアリマス、アトノ
在職年ヲ將來ニ向ッテ通算シ、或ハ新ニソレ
ニ依テ恩給ヲヤツテ居ツタ、現行恩給法ノ百
三十條ノ屯田兵ニ關スルサウ云フヤウナ例

ト新規受領人員並ニ金額及権利消滅ノ人員額ヲ御示シヲ願ヘマスルト幸デアリマス、是ダケ御願シマス

○津崎委員長 尚ホ政府ニ林君其他カラノ書類ノ要求ガアリマシタガ、出テ居リマセヌガ、ソレヲ明後日ニ出來ルナラバ御整ヘカラ開會ノ豫定デアリマスガ、其處ニ書類ヲ願ヒタイト思ヒマス、明後日ハ午後一時頃ヒタト思ヒマスガ、其處ニ書類ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、是ハ明治ノ初メ度カラノ全部ニ付テ調べマシタ所ガ、ソレハゴザイマセヌ、ソレデ新ニ恩給資格ヲ與ヘタノデナイ場合デ、斯ウ云フ例ガ一ツアリマスノハ、大正九年ニ七月分カラ俸給ヲ増俸致シマシタノ時ニ、恩給増額ノ法律ヲ出シマシタ、ソレハ同年ノ七月三十一日ヲ公告致シマシテ、翌日ノ八月一日カラ施行スルコトニナリマシタ、其時ニ恩給ニ附加ヘタル其増額ガ、七月分カラ附加ヘタルト云シテ、俸給ノ増額ト並行ニ行ッタヤウナ例ガアリマス、是ハ恩給資格ヲ新ニ認メテヤツタ例ニハナラナイノデゴザイマス

三十條ノ屯田兵ニ關スルサウ云フヤウナ例ハアリマスケレドモ、遡ツテヤツタ例ハ、年金ニ付テモ一時金ニ付テモアリマセヌ、甚シイノニナリマスト、ズット後ニ恩給ヲ認メ、而モ數年經タ後カラ恩給ヲヤリ始メル、幾ツカサウ云フノガゴザイマス、ソレカラ請願ニ現レテ居ツタ事項デアリ、殊ニ此議會ニ請願サレタモノデ、今度ノ恩給法改正ニ於テ考慮セラレナカツタモノガアルカト云フ御尋ト思ヒマスガ、是ハ請願ガ採擇ニナリマシテ、而シテ今回ノ恩給改正デ認メマセナカツタモノハ、屯田兵ノ豫備役通算、其他屯田兵ニ關スル請願ノ分デゴザイマシタ、是ハ政府ト致シマシテハ其請願ノ度々ニ恩給ノ問題トシテ之ヲ入レルコトハ困ルト云フコトヲ度々申上ゲマシタヤウナ譯デアリマス、是ダケガ入ツテ居リマセヌ、外ノコトハ請願ノ通リニハ必シモ入ツテ居リマセヌガ、全部アリマス

○津崎委員長 ソレデハ明後日月曜日午後一時カラ開會スルコトニ致シマシテ、本日ハ是ニテ散會致シマス

昭和八年二月二十五日印刷

昭和八年二月二十七日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所